

予備自衛官 5日間招集訓練（2月3日～7日） ～ 福島駐屯地における今年度最後の訓練に98名が出頭 ～



眼光鋭く至近距離射撃を演練する
最終任期満了の予備自衛官



受身や関節技などの格闘訓練を
演練する予備自衛官



最終任期満了者に方面総監顕彰状
を伝達

2月3日（金）～7日（火）、福島駐屯地において、第44普通科連隊が担任する予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。福島駐屯地における今年度最後の訓練には98名の予備自衛官が出頭し、武器訓練、格闘訓練などの各種訓練により練度の維持・向上を図っていました。

福島地本は、訓練期間中、永年勤続者表彰式を実施するとともに、最終任期満了となる方面総監顕彰状受賞者（3名）と本部長との会食・懇談を行い、永年にわたる功績と労をねぎらいました。受賞者の1人である菅野予備3尉は、「定年退官後に就職した現在の職場は、予備自衛官制度に大いに理解があったこともあり、5日間連続出頭を最終任期満了まで続けてこられました。これからも、自衛隊で培った奉仕の精神を大切にして、自衛隊に対する理解者の拡大に努めて参ります。」と話していました。

福島地本は、引き続き、雇用企業への制度広報を通じて、訓練に参加しやすい環境整備に努めていきます。